

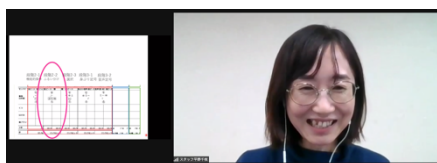
2021 年度国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査(改訂第 4 版)講習会 報告

日時：2021 年 10 月 30 日（土）～11 月 27 日（土）

場所：中小企業会館（東京都中央区）会議室よりライブ講義配信 オンライン・オンデマンド方式

2020 年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となった本講習会でしたが、2021 年度は初めてのオンライン・オンデマンド方式での開催でした。

講習会の内容は、従来と同様講義と実習で構成されています。ライブ講義は 3 回にわたり、検査の概要や症状分類といった総論の講義、絵カードやはめ板を用いた操作実習が行われました。検査教具がお手元のない参加者のために、台紙での付録教材を事前に送付しました。またライブ講義と講義の間にオンデマンドで V T R を見ながら記録や記録のまとめの記入実習を行いました。

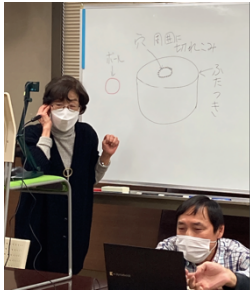


オンライン講義

従来の対面式の講習会では、小グループにチューターが付いて、随時参加者の質問に答えていました。今回の講習会ではチャット及びメールで質問をする方式

をとりました。90 件もの質問があがり、講義内で回答できなかった質問については、後日回答が文書で参加者全員に配布されました。

オンデマンドでの講義も、V T R を何度も一旦停止したり繰り返し視聴した参加者も多く、それぞれの参加者のペースに合わせて聴講できると好評でした。



現地での質疑応答の様子

質疑応答の中で受講生が「検査中、子どもが自分のペースで自由に操作してしまい、それに合わせないと怒ってしまう」「検査教具を買ってもらえない、上司に<S—S法>についてどう説明したらよいか

など、日々の臨床での具体的な悩みについて質問があがり、他の

参加者が大いに共感する場面が多くありました。オンラインであ

りながらも、参加者と講師陣が双方向でコミュニケーションをし、また参加者同士も一体感の感じられる講習会となりました。

<参加者の声>

- 期間・時間が長いかな、ついて行けるかなと最初は不安でしたが、内容を理解するには適した長さだったと感じています。丁寧さがわかりやすさに繋がっていてありがたかったです。
- オンラインの後にオンデマンドを受講することで学びが深まりました。毎回質問にもお答えいただけたのが大変有り難かったです。
- 自宅から参加できるため、会場への往復の時間が無くなり、忙しい中でも時間を捻出することができました。また、オンデマンドは何度も見返すことができてよかったです。リアルタイムの配信もその場での質疑応答などタイミングもよかったです。
- <S—S法>はマニュアルを読んでも理解できないと感ずることがあり苦手意識が強かったです。講習会に参加したことで霧が晴れたような気持ちになりました。対象者や保護者へのサポートのアイデアを聞いたことも良かったです。他のセラピストの方の

質問を通しての発見も多くあり勉強になりました。

- 検査をする上での手順や検査の意図などが分かり、大変勉強になりました。また、質疑応答の際に、同じようなお子さんの対応で悩んでおられる方がいらしたので、共感しましたし、励みになりました。